

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R4-12号)

令和4年9月22日

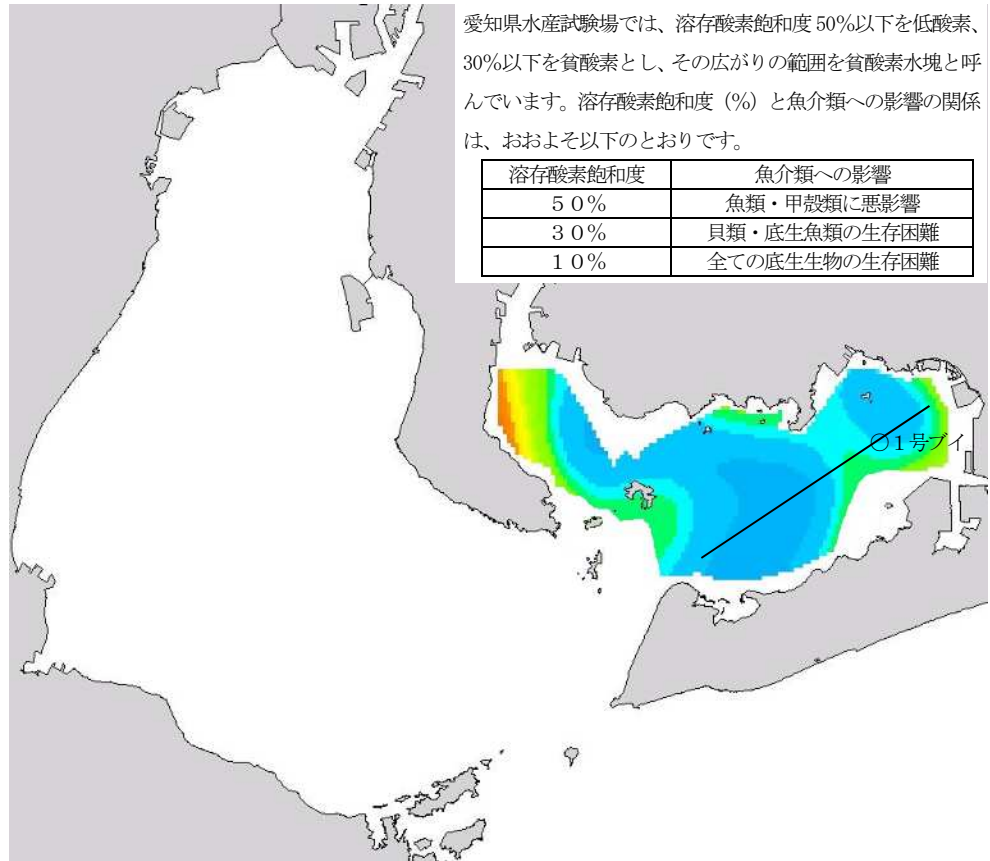
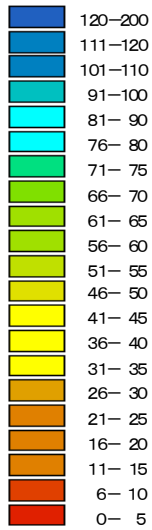
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年9月21日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

愛知県水産試験場では、溶存酸素飽和度50%以下を低酸素、30%以下を貧酸素とし、その広がり範囲を貧酸素水塊と呼んでいます。溶存酸素飽和度(%)と魚介類への影響の関係は、おおよそ以下のとおりです。

溶存酸素飽和度	魚介類への影響
50%	魚類・甲殻類に悪影響
30%	貝類・底生魚類の生存困難
10%	全ての底生生物の生存困難

溶存酸素飽和度(%)



湾口

三河湾奥

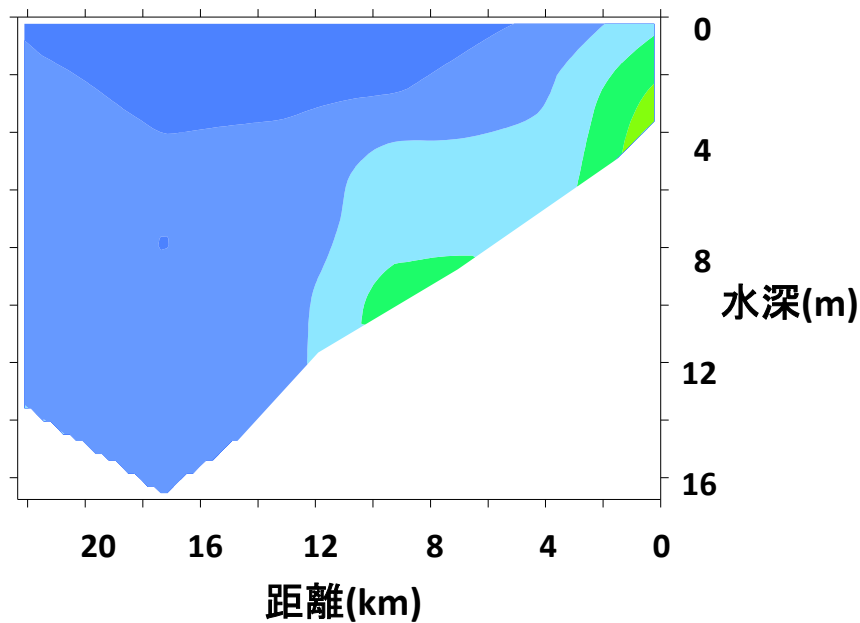


図1 三河湾(9月21日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「ちた」調査)

### 三河湾

9月21日の調査結果を図1に示しました。渥美湾では全域で貧酸素水塊が解消していました。知多湾では、湾西部（河和沖）のみで貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ、蒲郡沖）のデータを見ると、9月18日以降、貧酸素水塊が解消していました（図2）。台風14号の接近に伴う強風により、海水が鉛直混合し、貧酸素水塊が解消したと考えられました。

今週末（23～25日）に荒天が予想されているため、今後しばらくは貧酸素水塊が発達しないものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.5～27.3	15.2～30.2
底層	24.8～26.2	29.3～31.3

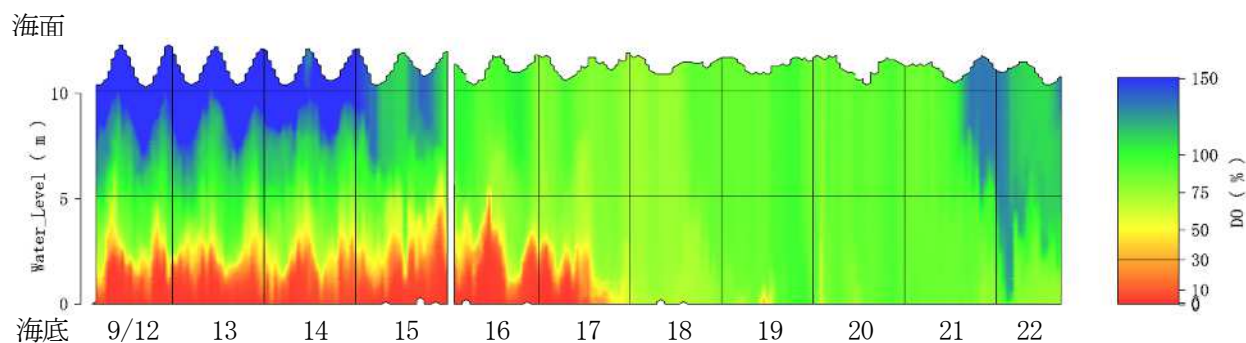


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ、1号ブイ）

### 参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

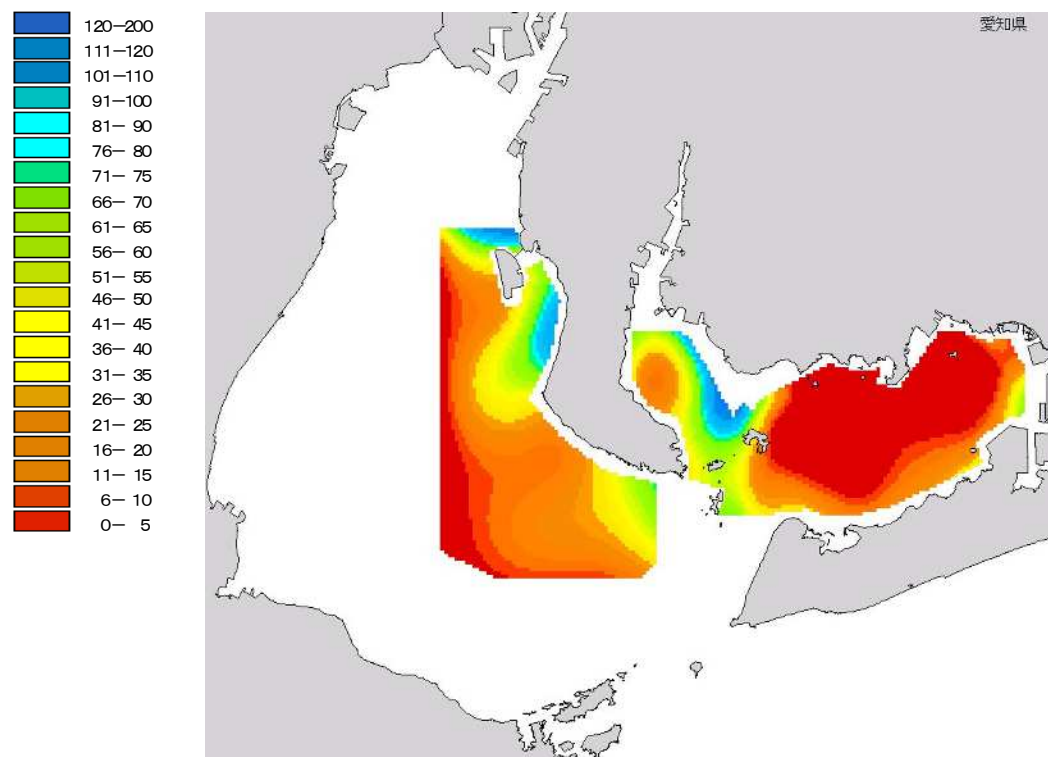


図3 令和4年9月5日（伊勢湾）、9月1、2日（三河湾）